

# 令和2年度事業報告書

## I. 公益目的事業

### ア. 研究交流、研究環境活性化事業

#### 1. 外国人研究者生活立ち上げ等支援業務

##### 1) ((国研)物質・材料研究機構から受託)

物質・材料研究機構の外国人研究者に対する生活立ち上げ支援等を行った。支援を行った外国人研究者は192名、支援件数1,873件であった。

##### 2) (国立大学法人東京大学から受託)

東京大学柏地区カブリ数物連携宇宙研究機構の外国人研究者に対する生活立ち上げ支援等を行った。支援を行った外国人研究者は86名、支援件数597件であった。

##### 3) ((国研)国立環境研究所から受託)

国立環境研究所の外国人研究者に対する生活立ち上げ支援等を行った。支援した外国人研究者は4名、支援件数11件であった。

##### 4) (国立大学法人筑波大学から受託)

筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構の外国人研究者等に対する生活立ち上げ支援等を行った。支援した外国人研究者は1名、支援件数2件であった。

##### 5) (大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構から受託)

高エネルギー加速器研究機構の外国人研究者等に対する生活立ち上げ支援等を行った。支援した外国人研究者は35名、支援件数253件であった。

##### 6) (オートリブ株式会社から受託)

オートリブ(株)の外国人社員に対する生活立ち上げ支援等を行った。支援した外国人研究者は5名、支援件数6件であった。

##### 7) 外国人研究者等総合保険制度創設

###### (自主事業)

我が国に在留する(短期滞在を含む)外国人研究者の傷害、疾病、事故等のリスクに備え、我が国での研究生活をサポートする保険制度を提供した。今年度の新規利用申請は0件。既承認機関の1名に対して保険を付与した。なお、現時点での組織単位を含めた承認数は60である。

## 2. 外国人研究者交流・生活確保事業

### 1) 外国人研究者宿舎生活サポート事業

((国研)科学技術振興機構から受託)

筑波研究学園都市の研究開発法人等で研究に従事する外国人研究者及びその家族のための宿舎である JST 二の宮ハウス及び JST 竹園ハウスにおいて居住者の生活立ち上げ等を支援した。両宿舎の居住者間の相互交流促進やつくば市の研究機関の研究者及び地域住民と交流を図るためのセミナーの企画などを行ったが、コロナウイルス感染症予防のため、交流イベントについては中止し、日本語教室の開催など外国人研究者が来日当初から日本で円滑に生活し、研究活動に専念できる環境を提供する業務を推進した。

利用者数：

二の宮ハウス：289 件（42 ヶ国）

竹園ハウス：45 件（13 ヶ国）

### 2) 外国人宿舎管理運営事業

((国研)科学技術振興機構から受託)

筑波研究学園都市の研究開発法人等で研究に従事する外国人研究者及びその家族のための宿舎である JST 二の宮ハウス及び JST 竹園ハウスの良好な管理運営を実施した。

## 3. 科学技術関係者国際交流プログラム支援事業

### 1) 「さくらサイエンスクラブ (SSC)」の運営事務局業務

((国研)科学技術振興機構請負業務)

「さくらサイエンスプラン」参加者のネットワーク形成を目的とし設置された「さくらサイエンスクラブ」の事務局業務（オンライン同窓会の開催、名簿管理、ホームページによる情報提供、SNS ツール等を活用した会員間コミュニケーションの促進支援、掲示板内の質問及び問合せメールの返信業務、メールマガジン配信、マイページ内の情報収集、アンケートの集計等）を行った。

## イ. 情報収集、調査研究事業

### 1. 中国総合研究・さくらサイエンスセンター研究会速報の発行

((国研)科学技術振興機構請負業務)

((国研)科学技術振興機構 中国総合研究・さくらサイエンスセンターが主催する研究会に関する速報の作成、発行を行った。

## 2. JISTEC Report等の発行

当センターの活動等を広く一般に公開するため、「JISTEC Report」Vol. 90をJISTEC 30周年記念号として発行した。

## 3. 「新型コロナウイルス感染症後の中国経済・日中経済関係の展望」に関する調査研究

(国研)科学技術振興機構請負業務)

「新型コロナウイルス感染症後の中国経済・日中経済関係の展望」について、日中の関連専門家による委員会開催、執筆、取り纏めなどの作業を行った。

## 4. 「中国における5G技術と産業の現状と動向」に関する調査研究

(国研)科学技術振興機構請負業務)

「中国における5G技術と産業の現状と動向」について、日中の関連専門家による委員会開催、執筆、取り纏めなどの作業を行った。

## 5. 「災害時の危機管理の在り方」に関する調査研究

(渡辺財団助成事業)

福島第一原子力発電所事故の経験から原子力災害と自然災害との間で人的被害の共通する課題を研究し、減災対策を科学技術的な観点で提言するための調査研究を行うにあたり、災害危機管理検討部会を立ち上げ勉強会を行った。

## 6. 「さくらサイエンスプラン成果調査業務」に関する調査研究

(国研)科学技術振興機構請負業務)

「さくらサイエンスプラン成果調査業務」について、さくらサイエンス一般公募プログラムの申請書・計画書・報告書等から成果につながるものを整理し、各受入機関に対しアンケートを行い、取り纏めと分析作業を行った。

## 7. 「さくらサイエンスプラン対象国・地域の教育・科学技術の主要機関、制度等の状況調査」に関する調査研究

(国研)科学技術振興機構請負業務)

「さくらサイエンスプラン対象国・地域の教育・科学技術の主要機関、制度等の状況調査」について、調査・取り纏めを行った。

## II. その他事業

### 1. 講演会の開催

(自主事業)

第23回の「科学技術・文化交流サロン」(CST国際ナショナルサロン)を30周年事業の一環として開催した。

## 2. 科学技術関係者の研修会の開催

(自主事業)

科学技術外交官関係者の研修と日本の関係機関との交流を目的として科学技術研修会を企画したが、新型コロナウイルス感染症のため開催延期となった。

## 3. ホームページによる情報の提供

(自主事業)

ホームページにより、外国人研究者の日本受入れ促進に資する情報、日本滞在における生活支援情報及び外国人宿舎情報等を提供した。

## 4. JISTEC 30周年記念事業

(自主事業)

2020年11月に創立30周年を迎えるにあたり、記念事業の企画検討を行ったが、新型コロナウイルス感染症予防のため、次の関連事業の実施にとどまった。

- ① JISTEC レポートを30周年記念誌として JISTEC レポートを発行
- ② 米国の国務省長官科学技術顧問と日本の外務大臣科学技術顧問による意見交換会を11月9日に第23回CST国際サロンの一環として開催

## 5. 中国研究サロン企画・運営業務

((国研)科学技術振興機構請負業務)

JST 中国総合研究・さくらサイエンスセンターが開催する“中国研究サロン”の企画・運営を行った。

## 6. 科学技術団体連合の運営事務局業務

(受託事業)

会員相互の連携の下、科学技術振興の活性化に関する諸事業を協力して実施し、もって我が国における科学技術の振興及び普及啓発の推進に寄与することを目的とする団体の企画・運営を行った。

## 7. 牧友会の運営事務局業務

(受託事業)

会員相互の親睦を深め、あわせて科学技術行政の充実に資することを目的とし、会員は国家公務員として科学技術行政に携わった者及び携わっている者で前記目的の趣旨に賛同した者で構成する団体の企画・運営を行った。

## 8. 科学技術議員等国際交流基金運営事業

(本年度は事業の執行がなかった。)

## 9. 芦田基金運営事業

芦田基金の趣旨に沿って、優秀な女性研究者の顕彰（輝く女性研究者賞（JST 主催））に関して必要な助成事業を行った。